

松本市住宅マスタープラン見直しに関する インターネットアンケート調査結果



令和6年2月
松本市建設部住宅課

目 次

| | |
|---------|---|
| 1. 調査概要 | 1 |
|---------|---|

| | |
|---------|---|
| 2. 集計結果 | 2 |
|---------|---|

| | |
|---------------------|---|
| 【あなた自身について（回答者の属性）】 | 2 |
|---------------------|---|

| | | |
|-----|-------|---|
| 問1. | 性別 | 2 |
| 問2. | 年齢 | 2 |
| 問3. | 居住地 | 3 |
| 問4. | 職業 | 5 |
| 問5. | 家族構成 | 6 |
| 問6. | 住宅の種類 | 7 |

| | |
|------------------------------------|---|
| 【理想の住まいを実現するために重要視する「もの」、「こと」について】 | 9 |
|------------------------------------|---|

| | | |
|------|----------------------------------|----|
| 問7. | 将来希望される住宅の種類 | 9 |
| 問8. | 住宅について重要視する「もの」、「こと」 | 12 |
| 問9. | 住まいを取り巻く周辺の居住環境として重要視する「もの」、「こと」 | 14 |
| 問10. | 入れたい、または入れてよかった設備・部材 | 16 |

| | |
|----------------|----|
| 【松本市の住宅政策について】 | 18 |
|----------------|----|

| | | |
|------|----------------------------|----|
| 問11. | 松本市が特に力をいれてもらいたいと思う分野 | 18 |
| | 『1 環境・健康・安全に配慮した住まいづくり』 | 20 |
| | 『2 多様なニーズに応じた住まいづくり』 | 22 |
| | ア 『空き家対策』について | 24 |
| | 『3 多様な世代の支えあいとコミュニティの形成』 | 25 |
| | 『4 誰もが安心して暮らせる住まいづくり』 | 27 |
| | 『5 住生活産業の発展と新技術の活用』 | 28 |
| 問12. | 松本市の住宅に関する施策へのご意見 | 30 |

1. 調査概要

(1) 調査の目的

本アンケート調査は、松本市住宅マスタープランの見直しにあたり、市民の方の住まいに関する意見を把握し、今後の住宅施策の参考とするために実施した。

(2) 調査期間

令和5年10月30日（月）から

令和5年11月12日（日）まで

(3) 調査対象

松本市民や松本市の住宅に興味のある方

(4) 調査方法

専用フォームによるWEBアンケート

(5) 回答状況

485件

《集計結果における留意点》

- ・集計結果は小数点第2位を四捨五入、または小数点第1位を四捨五入しているため、合計が100%に満たない、または超える場合がある。
- ・複数回答の設問は、集計結果の合計が100%を超えることがある。
- ・無回答には、無効回答（選んだ選択肢の判別が困難なもの、択一回答の設問で複数の選択肢を選んでいるものなど）が含まれる。
- ・クロス集計のグラフのうち、全体の5%に満たないサンプルは数字を非表示とする。
- ・「年齢別：20歳未満」はサンプル数が少ないため、参考値とする。

2. 集計結果

【あなた自身について（回答者の属性）】

問1. 性別

あなたの性別をお答えください。[記入は任意です]

回答者の性別は「男性」が52.8%、「女性」は44.7%であった。

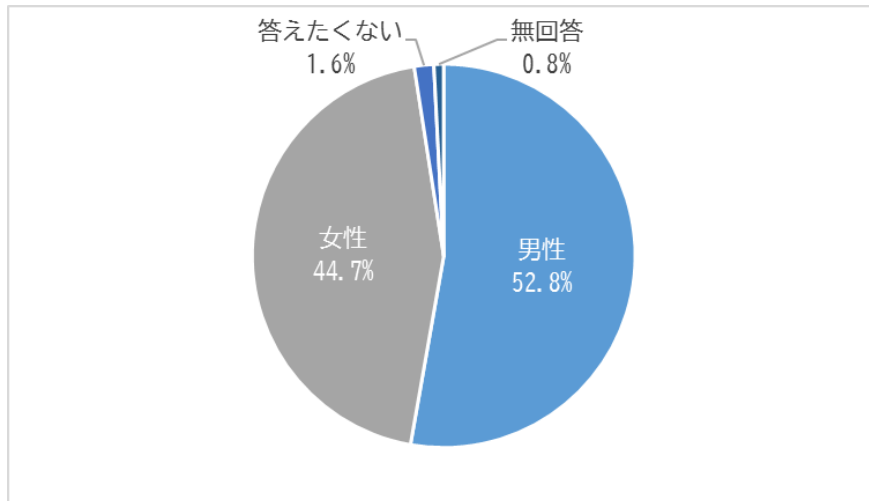


図1 - 回答者の性別

問2. 年齢

あなたの年齢をお答えください。[該当するもの1つに○]

回答者の年齢は、40代の回答者数が最も多くなっており、次いで50代、30代の回答者が多くなっている。

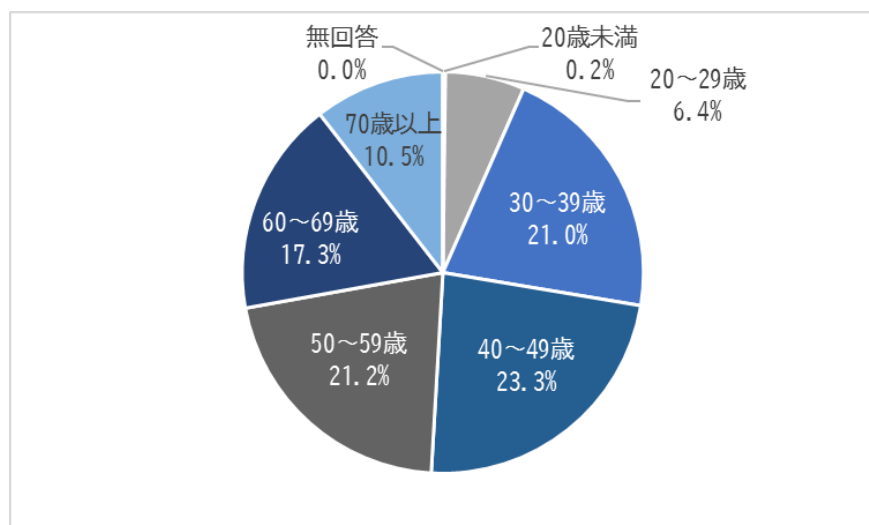


図2 - 回答者の年代

問3. 居住地

あなたのお住まいはどちらですか。[該当するもの1つを選択]

回答者の居住地は、「松本市内」が92.0%と最も多く、次いで「長野県内（松本市外）」が6.8%、「長野県外」は1.2%となっている。

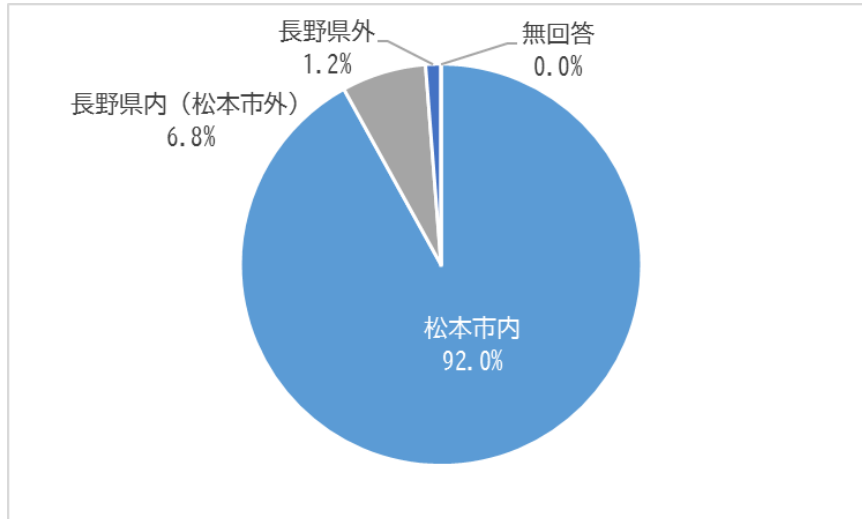


図3－回答者の居住地域

「松本市内」の回答者の居住地区は、「中央南部地域」が17.8%と最も多く、次いで「南部地域」が13.3%となっている。

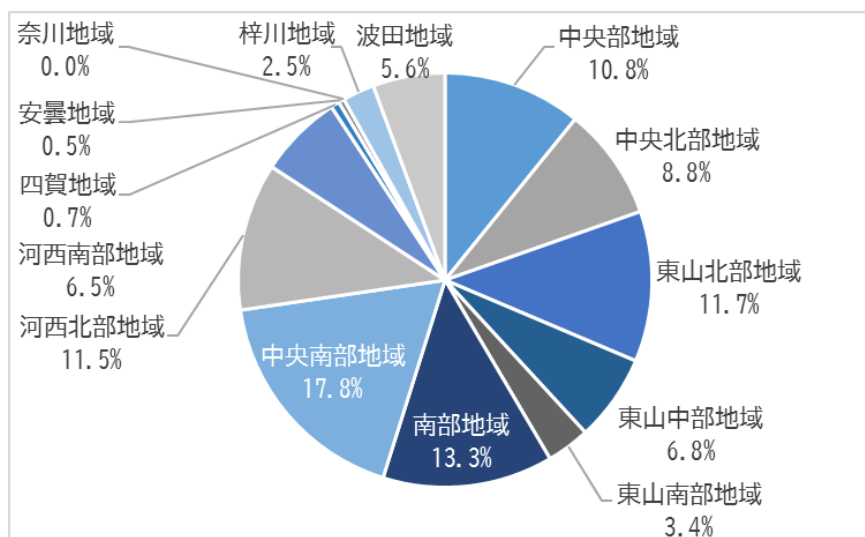


図4－回答者の居住地区（松本市内）

| | | | | | |
|----------------|--|----------------|--|----------------|--|
| 中央部 地域 | 1 中央地区 2 東部地区 3 第一地区 4 第二地区 5 第三地区 | 東山中 部地 域 | 12 里山 辺地 区 13 入山 辺地 区 | 河西北 部地 域 | 24 島 内地 区 25 島 立地 区 26 新 村地 区 |
| | | 東山南 部地 域 | 14 中 山地 区 15 内 田地 区 | 河西南 部地 域 | 27 和 田地 区 28 神 林地 区 29 笹 賀地 区 30 今 井地 区 |
| 中央北 部地 域 | 6 白 板地 区 7 城 北地 区 8 安 原地 区 9 城 東地 区 | 南部 地 域 | 16 芳 川地 区 17 寿 地 区 18 寿 台地 区 19 松 原地 区 | 四賀 地 域 | 31 四 賀地 区 |
| | | | 中央南 部地 域 | | |
| 東山北 部地 域 | 10 岡 田地 区 11 本 郷地 区 | 中央南 部地 域 | 20 田 川地 区 21 鎌 田地 区 22 松 南地 区 23 庄 内地 区 | 奈川 地 域 | 33 奈 川地 区 |
| | | | | 梓川 地 域 | 34 梓 川地 区 |
| | | | | 波田 地 域 | 35 波 田地 区 |

(参考) 松本市35地区表

松本市外の回答者の居住地は「安曇野市」が14件と最も多く、次いで「塩尻市」が7件となっている。

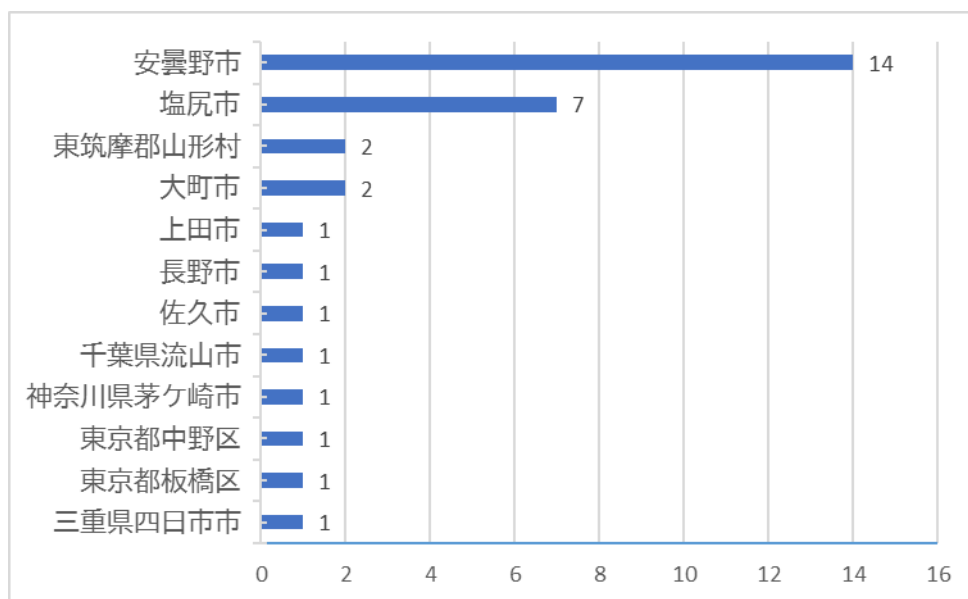


図5 - 回答者の居住地区 (松本市外)

問4. 職業

あなたの職業は何ですか。[該当するもの1つを選択]

回答者の職業は、「会社員、会社役員」が50.7%と大半を占めており、次いで「パート、アルバイト、派遣社員」が13.2%、「無職」が9.3%となっている。

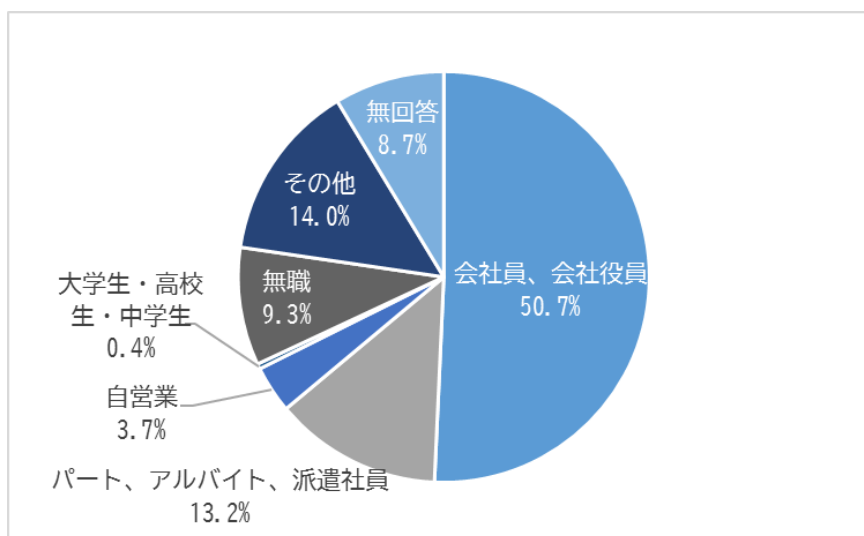


図6 - 回答者の職業

問5. 家族構成

あなたの家族構成をお答えください。[該当するもの1つを選択]

回答者の家族構成は、「親と子の世帯（2世代）」が51.1%と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が26.0%、「単身世帯」が10.7%となっている。

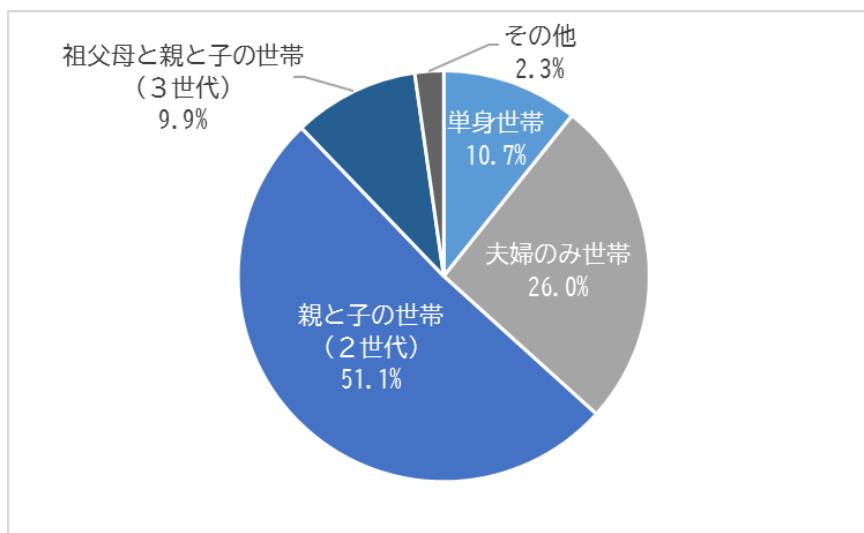


図7－回答者の家族構成

年代別に見ると、「20～29歳」では「単身世帯」、「70歳以上」では「夫婦のみの世帯」が最も多く、それ以外の年代では「親と子の世帯（2世代）」が最も多かった。「祖父母と親と子の世帯（3世代）」の割合が最も高かった年代は、「50～59歳」であった。

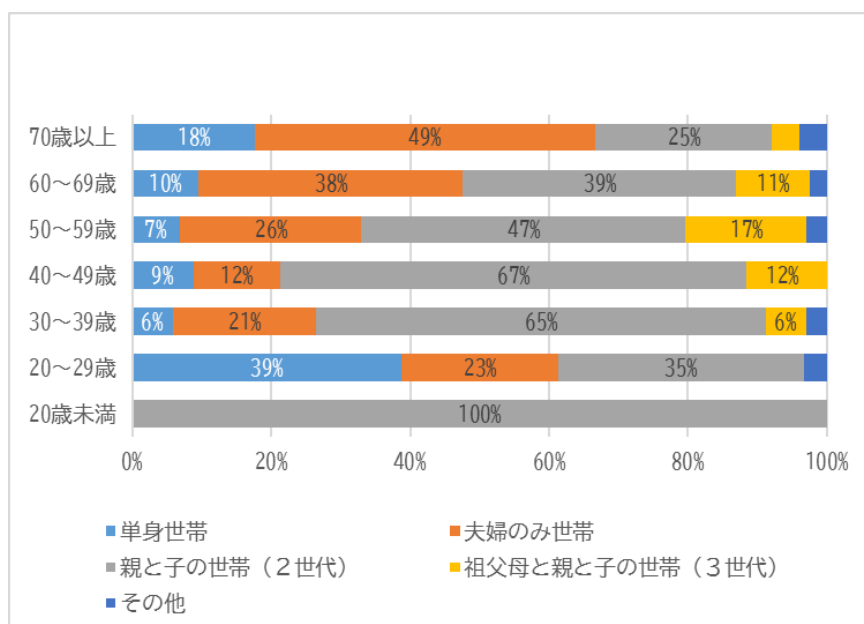


図8－年齢別家族構成

問6. 住宅の種類

あなたが現在お住まいの住宅の種類についてお答えください。[該当するもの1つを選択]

回答者の現在お住まいの住宅の種類は、「新築の一戸建て」が37.7%と最も多く、次いで、「中古の一戸建て」が28.7%、「民間の賃貸住宅（共同住宅）」が17.9%となっている。

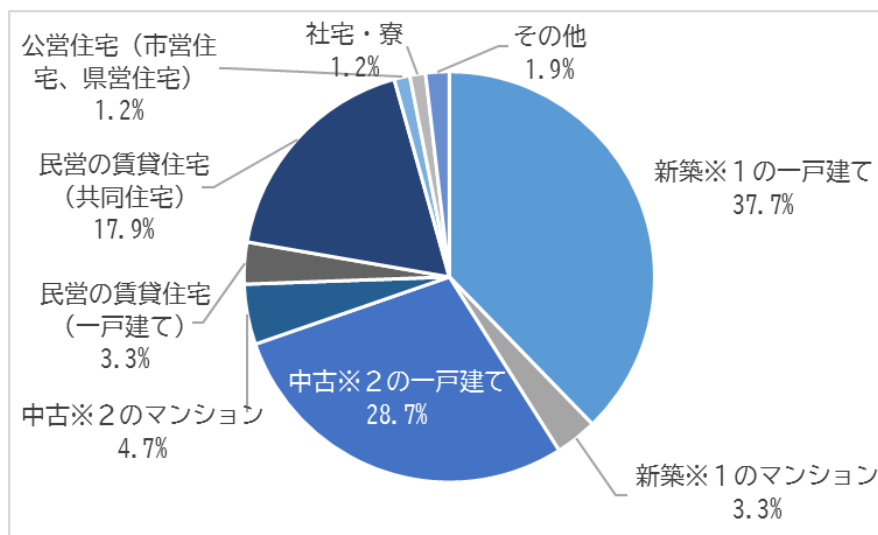


図9 - 回答者の現在お住まいの住宅の種類

なお、本アンケートにおける「新築」及び「中古」の定義は下記のとおりであり、新築・中古の判断は回答者が入居されたときの状態で回答してもらっている。

※1 新築：人が住んだことのない、完成から1年以内の住宅

※2 中古：自分が住む前に人が住んだことのある住宅や、完成から1年を超えている住宅

年代別で見ると、新築の一戸建ては20代、50代以外の全ての年代で最も多くなっており、20代は「民営の賃貸住宅（共同住宅）」が最も多く、50代は「中古の一戸建て」が最も多くなっている。

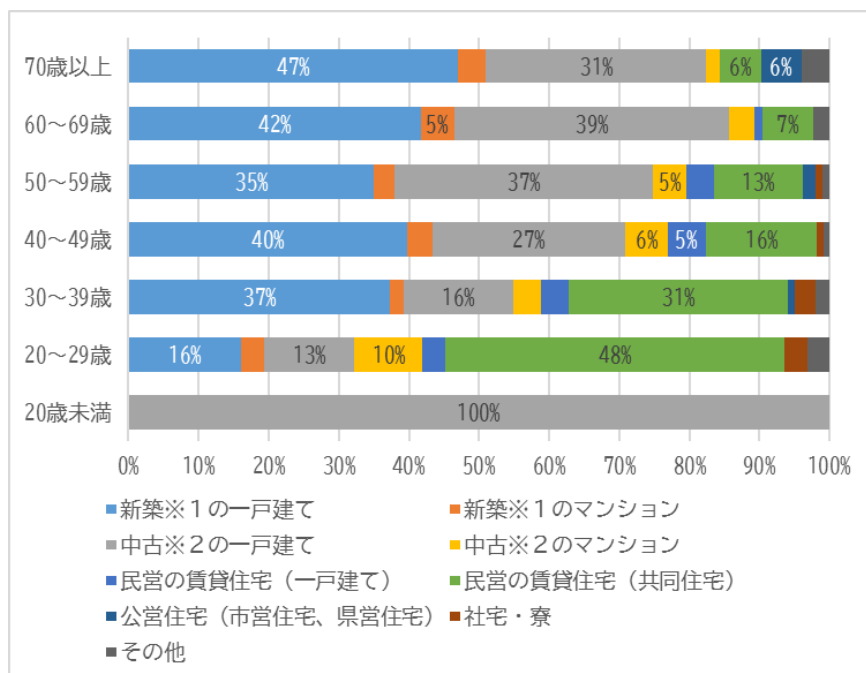


図10－年代別住宅の種類

【理想の住まいを実現するために重要視する「もの」、「こと」について】

問7. 将来希望される住宅の種類

あなたが将来、希望される住宅の種類についてお答えください。[該当するもの1つを選択]

回答者の将来希望される住宅の種類は、「今のままでよい」が56.7%と最も多く、次いで、「新築の一戸建て」が22.3%、「中古の一戸建て」が6.2%となっている。

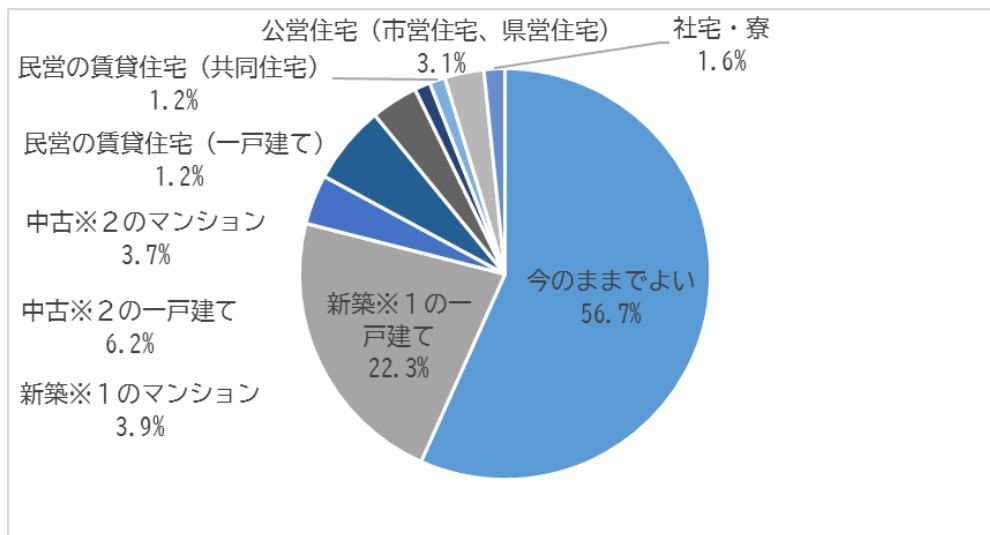


図11 - 将来希望される住宅の種類

年代別でみると、年代が上がるにつれて「今のままでよい」回答者が増加している傾向にある。

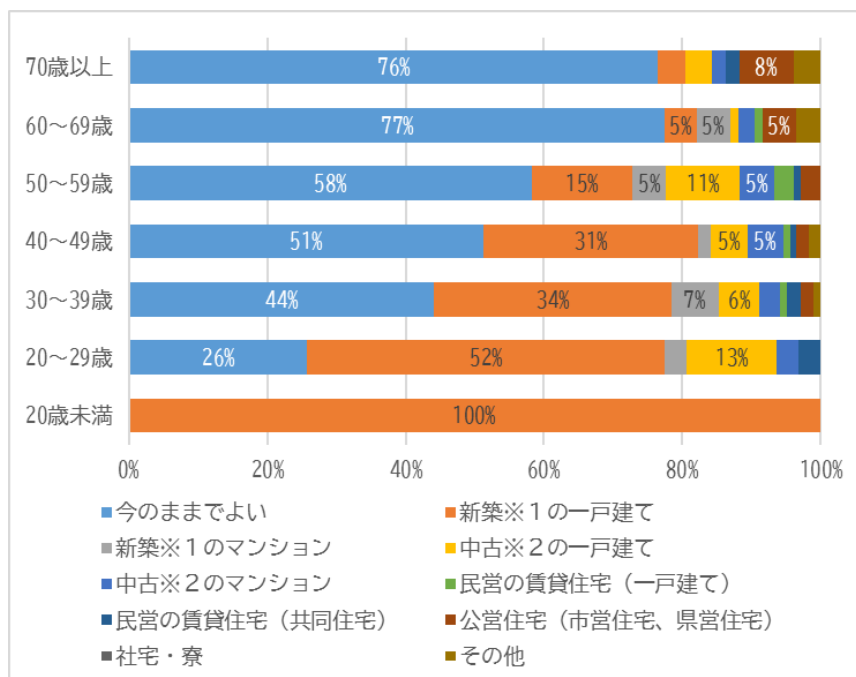


図12 - 年代別将来希望される住宅の種類

現在のお住まい別でみると、「新築の一戸建て」、「新築のマンション」、「中古の一戸建て」、「中古のマンション」、「民営の賃貸住宅（一戸建て）」は「今のままでよい」の回答が最も多く、現在のお住まいが「民営の賃貸住宅（共同住宅）」、「社宅・寮」は「新築の一戸建て」を希望する回答が最も多かった。現在のお住まいが「公営住宅（市営住宅、県営住宅）」は全体の67%が継続して公営住宅への入居を希望する旨の回答であった。

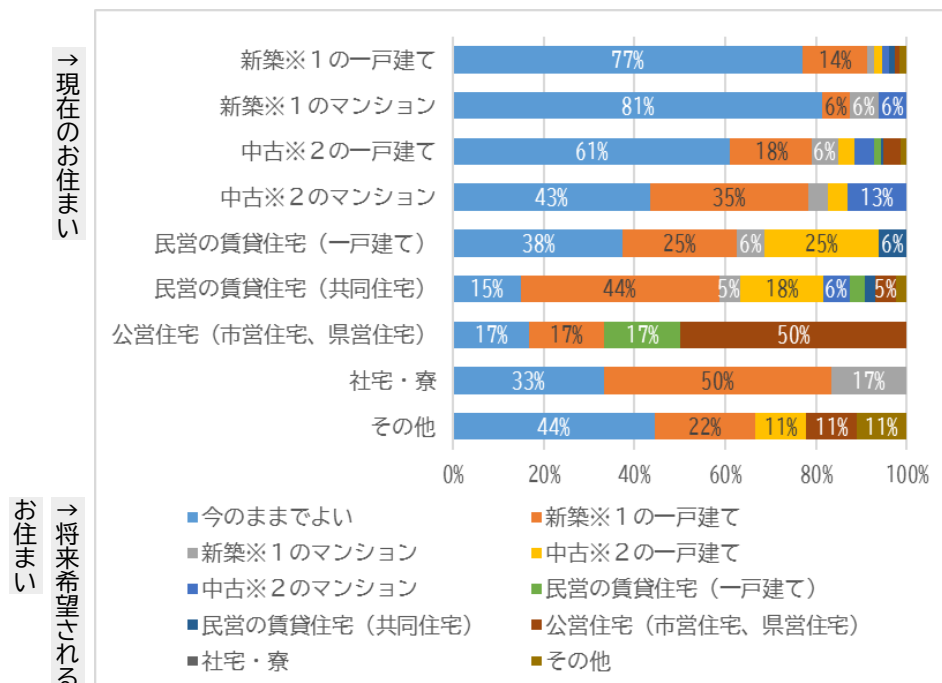


図13－現在のお住まい別将来希望される住宅の種類

問8. 住宅について重要視する「もの」、「こと」

あなたが理想の住まいを実現するために、住宅について重要視するもの、ことは何ですか。[該当するもの5つまでチェック]

理想の住まいを実現するために住宅について重要視する「もの」、「こと」は、「住宅の価格、家賃」287件と最も多く、次いで「広さや間取りが生活に合っていること、または生活に合わせてリフォームしやすいこと」が269件、「採光、通風等の室内環境が良いこと」が243件、「断熱性能、省エネ性能が高いこと」が223件と続いている。

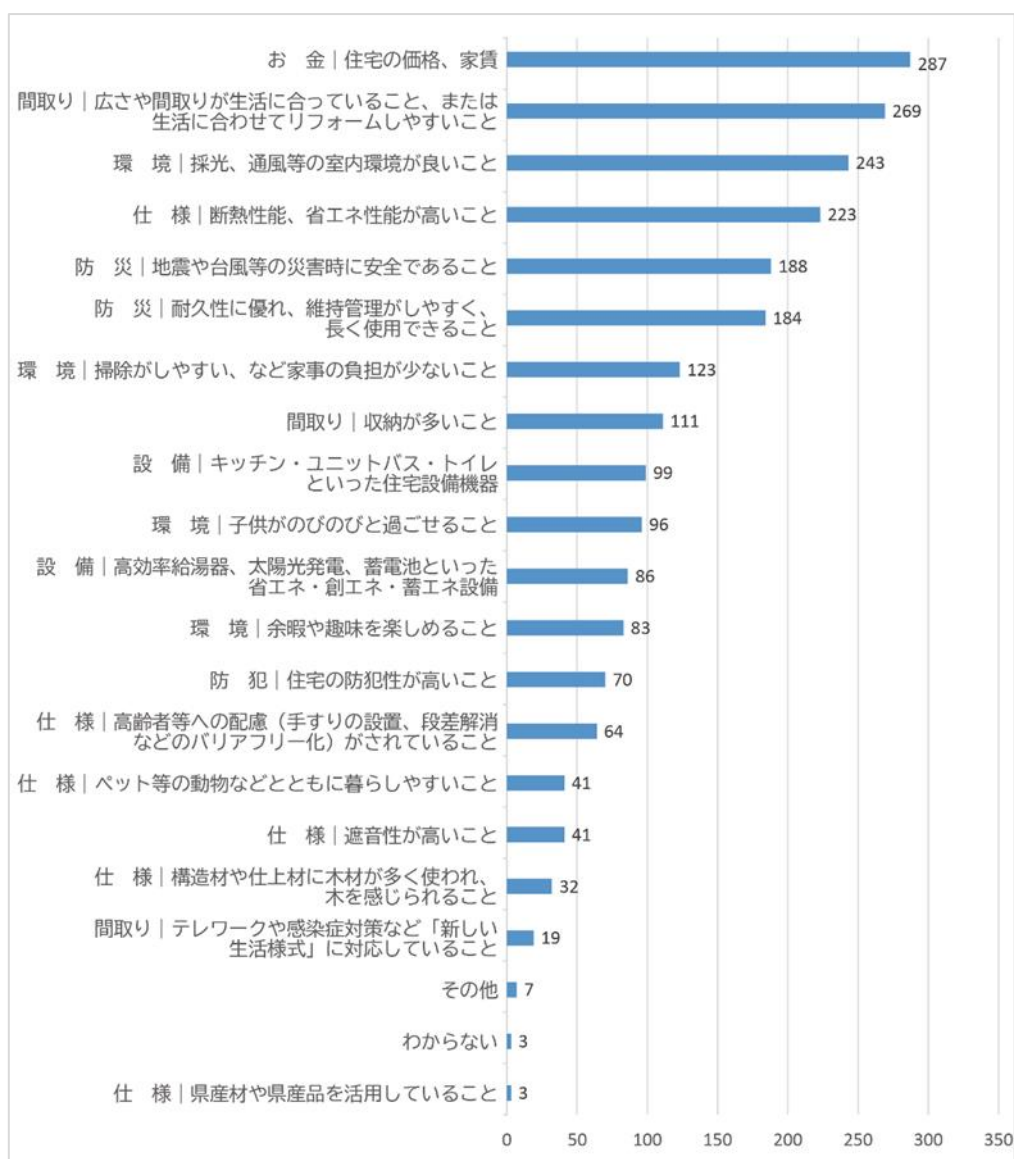


図14-住宅について重要視する「もの」、「こと」

年代別でみると、「広さや間取りが生活に合っていること、また生活に合わせてリフォームしやすいこと」がどの年代でも多く、年代が上がるにつれ、「住宅の価格、家賃」の割合が高くなっている。

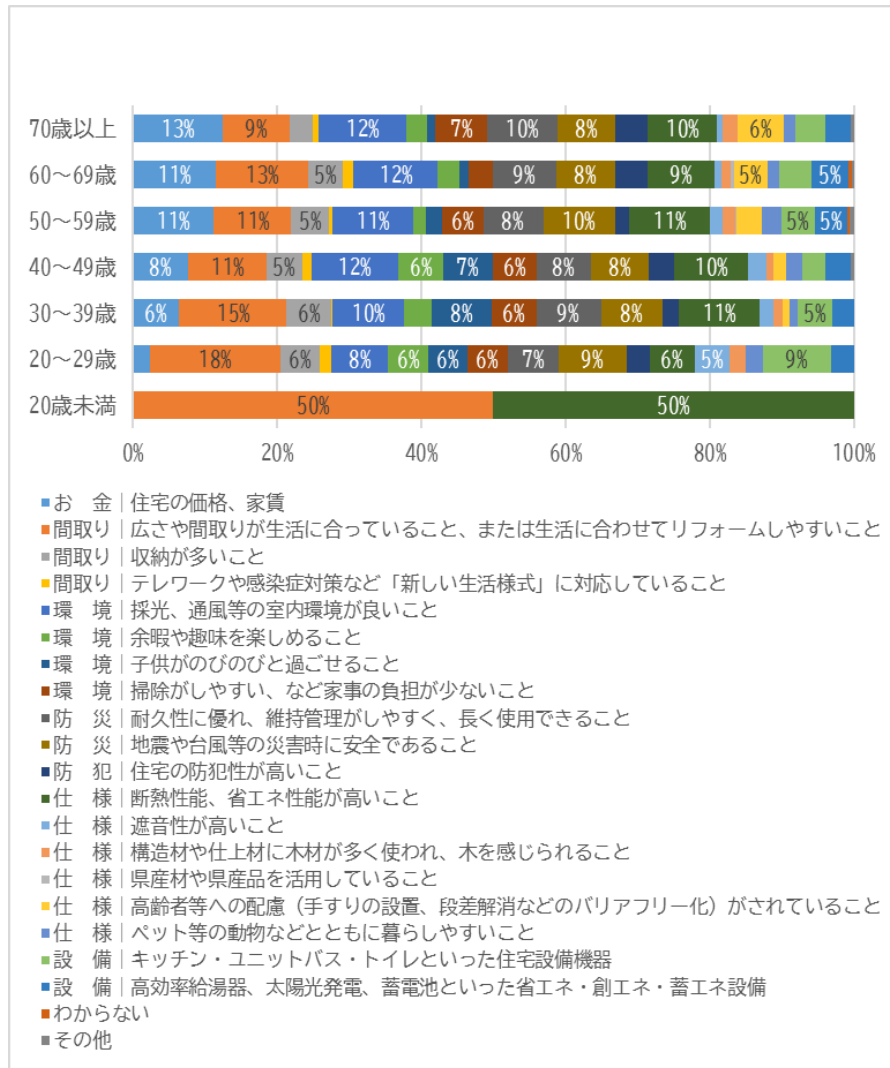


図15 年代別住宅について重要視する「もの」、「こと」

問9. 住まいを取り巻く周辺の居住環境として重要視する「もの」、「こと」

あなたが理想の住まいを実現するために、住まいを取り巻く周辺の居住環境として重要視するもの、ことは何ですか。[該当するもの5つまでチェック]

理想の住まいを実現するために住まいを取り巻く周辺の居住環境として重要視する「もの」、「こと」は、「通勤・通学・買い物・病院等に便利な場所に立地していること」が343件と最も多く、次いで「治安や防犯上の不安が少ないこと」が270件、「自然災害を受けにくい立地であること、また自然災害発生時に避難しやすい住環境であること」が256件と続いている。

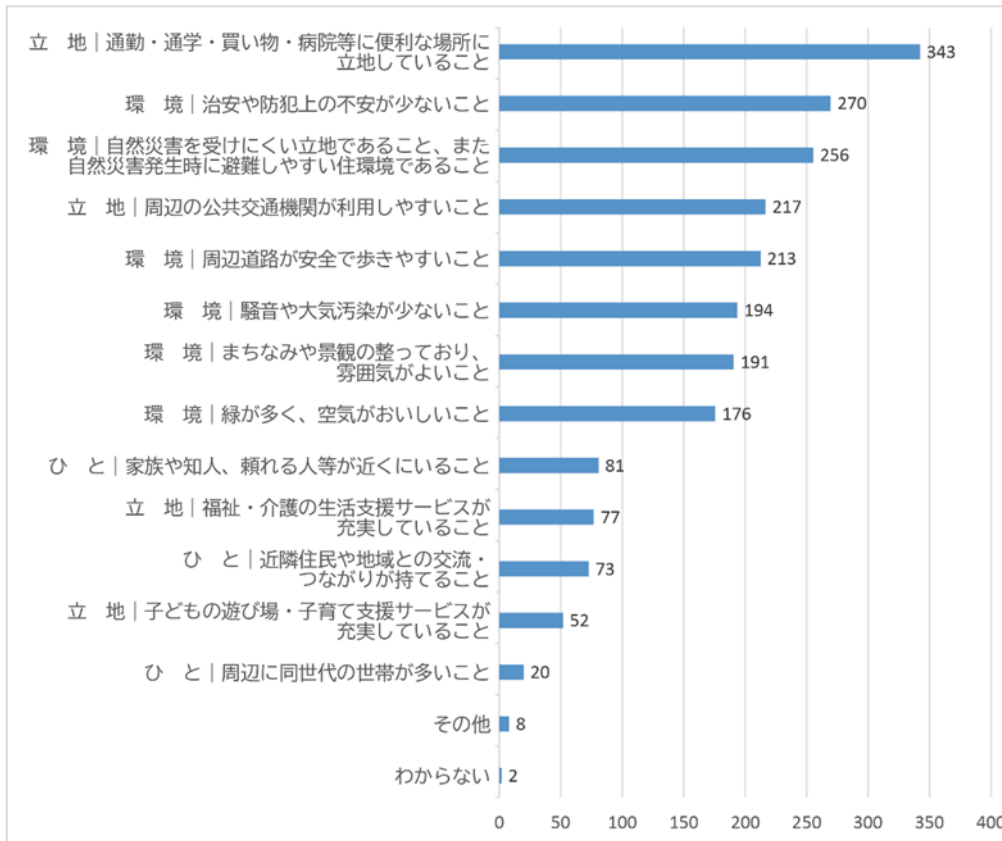


図16 – 住まいを取り巻く周辺の居住環境として重要視する「もの」、「こと」

年代別でみると、年代が上がるにつれ、「緑が多く、空気がおいしいこと」が増加傾向にあり、特に60代以上においては、「福祉・介護の生活支援サービスが充実していること」、「近隣住民や地域との交流・つながりが持てること」の割合が増加している。

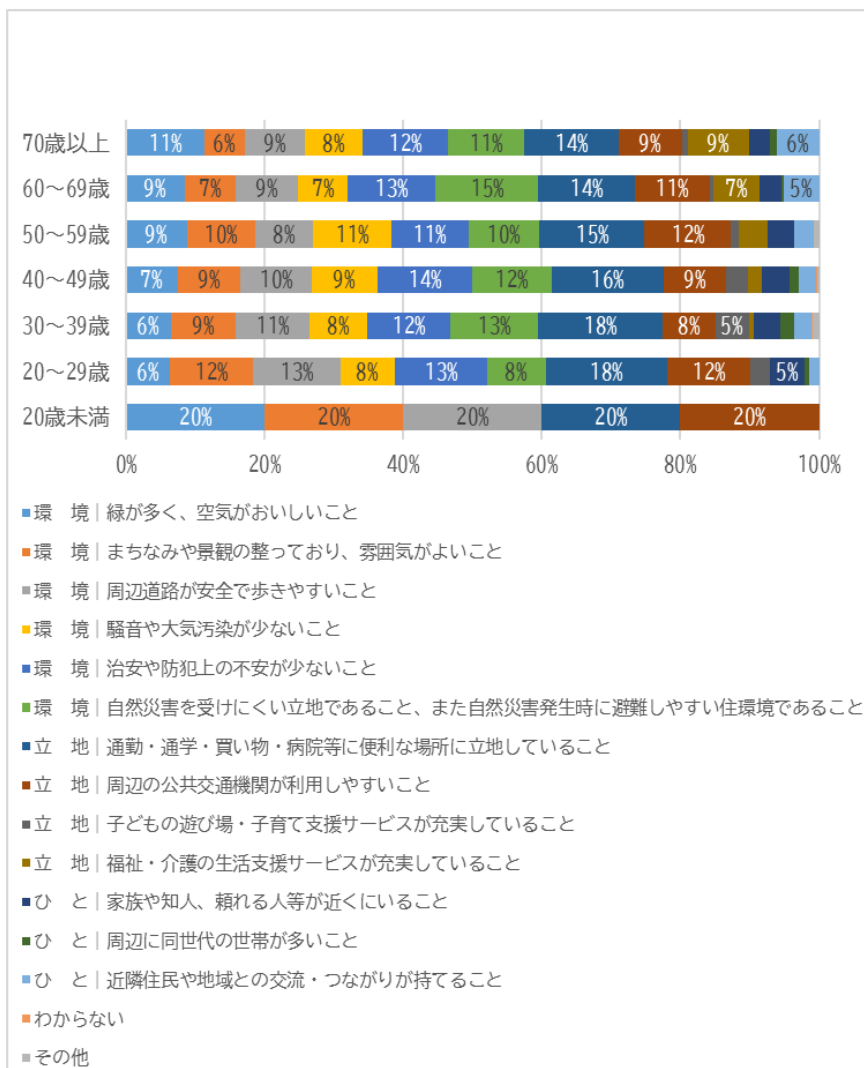


図17-年代別住まいを取り巻く周辺の居住環境として重要視する「もの」、「こと」

問10. 入れたい、または入れてよかった設備・部材

あなたが理想の住まいを実現するために、入れたい、または入れてよかった設備・部材（家づくりをお仕事にされている方からのオススメ設備・部材）があれば、次のキーワードを選択し、詳細をご入力ください。

入れたい、入れてよかった設備・部材のキーワードは、「健康住宅・断熱住宅」が235件と最も多く、次いで「防災・防犯」が115件、「脱炭素（省エネ設備等）」が113件と続いている。

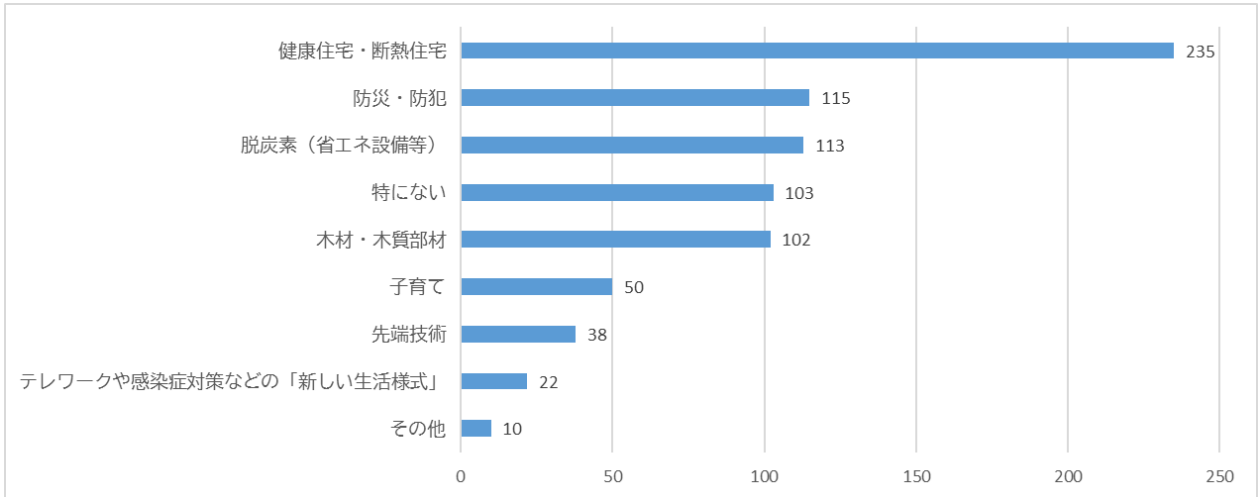


図18－入れたい、または入れてよかった設備・部材のキーワード

■ キーワード別入れたい、または入れてよかった設備・部材（主要な意見の抜粋）

- <脱炭素（省エネ設備等）>
 - ・太陽光発電システム
 - ・エコキュート
 - ・蓄電池（家計がエネルギー価格の上下に影響されづらくなり、災害時も活用できそうだから）
 - ・電気自動車充電用コンセント（将来的に電気自動車へ移行するかもしれないから）
 - ・雨水貯留タンク
 - ・緑化ブロック

など
- <木材・木質部材>
 - ・無垢材のフローリング
 - ・県産木材を使った家（無垢のフローリングは冬でもあまりひんやりせず快適に過ごせている）
 - ・無垢材を使用した柱、床等（経年変化が楽しめるもの）
 - ・県産木材と、壁は漆喰塗りと自然素材にこだわった健康住宅

など
- <健康住宅・断熱住宅>
 - ・二重サッシ（冬場の防寒のため）
 - ・外断熱工法と蓄熱の暖房機（夏は暑すぎず、冬は寒すぎず、クーラー無しでも暮らせる）

| | |
|--|----|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 24時間換気システム ・ ブローイング断熱 ・ 全館空調 | など |
| <p><防災・防犯></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯用窓ガラス ・ マンション入り口、エレベーターのロック解除に顔認証が採用されている ・ 玄関ドアタッチキー | など |
| <p><子育て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リビングから子供が見える1.5階のスキップフロア | など |
| <p><テレワークや感染症対策などの「新しい生活様式」></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戸建てですが、宅配ロッカーをつけています。ネットで物を買う時外出時や仕事で手がはなせないときに便利です。 ・ 情報機器用のコンセントや HUB などの集中的な目隠し設置（ルータや各種充電器、AC アダプターなどが多い現代に、それぞれが目隠しされた場所に集中的に接続できたら、スマートな居住空間となるため） ・ 光 LAN ケーブルのコンセント化。壁から有線で光ケーブルを取り入れることができること。 | など |
| <p><先端技術></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キッチンタッチレス水栓（手をかざすだけで水を出したり止めたりできるので、手が汚れていても使いやすく便利） ・ 玄関スマートキー | など |
| <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3D技術による建築 ・ 食器洗い乾燥機 ・ 衣類乾燥機 ・ リビングクローゼット ・ 土間収納 | など |

【松本市の住宅政策について】

問11. 松本市が特に力をいれてもらいたいと思う分野

市が住宅施策を進めるうえで、あなたが特に力をいれてもらいたいと思う分野は何ですか。[該当する分野にチェック、複数可]

市の住宅施策で力をいれてもらいたい分野は、「環境・健康・安全に配慮した住まいづくり」が278件と最も多く、次いで「誰もが安心して暮らせる住まいづくり」が246件と続いている。

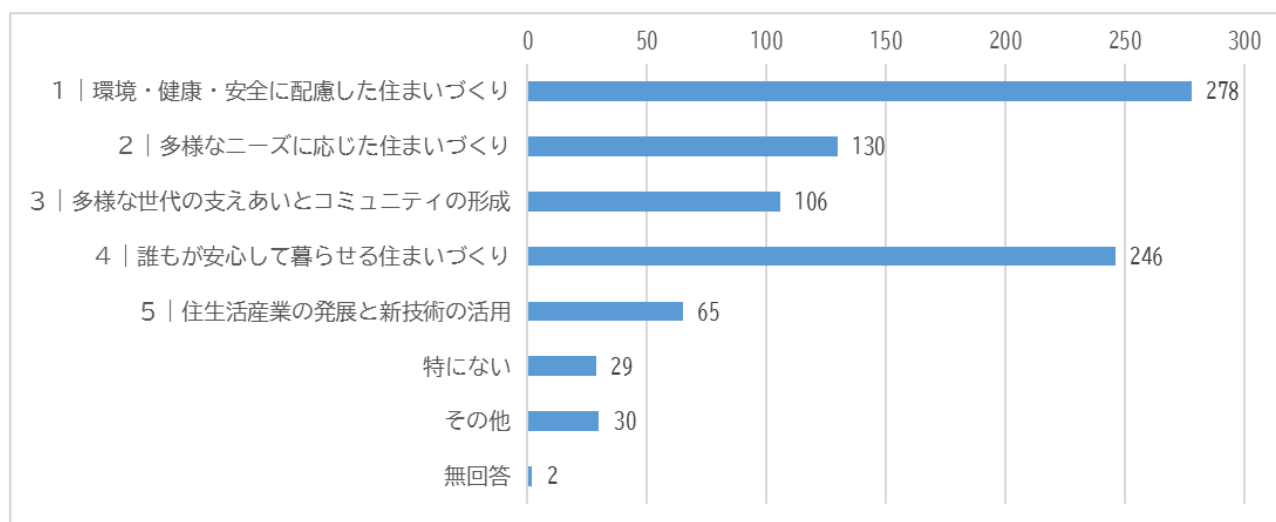


図19 - 松本市が特に力をいれてもらいたいと思う分野

年代別でみると、年齢が高くなるにつれ、「多様な世代の支えあいとコミュニティの形成」、「誰もが安心して暮らせる住まいづくり」の割合が高くなっていく傾向にある。

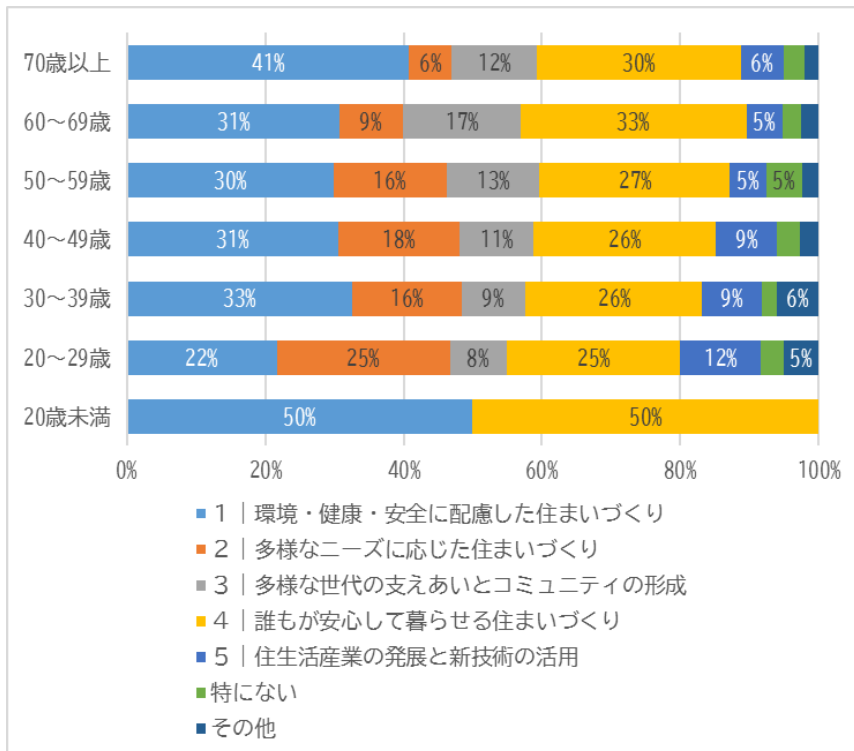


図20 年代別松本市が特に力をいれてもらいたいと思う分野

分野別にみると、『1 | 環境・健康・安全に配慮した住まいづくり』を市が進めるうえで力をいれてほしい施策は、「健康長寿の住まいづくり（断熱性能を備えた住宅の普及促進など）」が149件と最も多く、次いで「高齢者等が安心して暮らすことができる住まいの支援（住まいのバリアフリー化など）」が132件となっている。

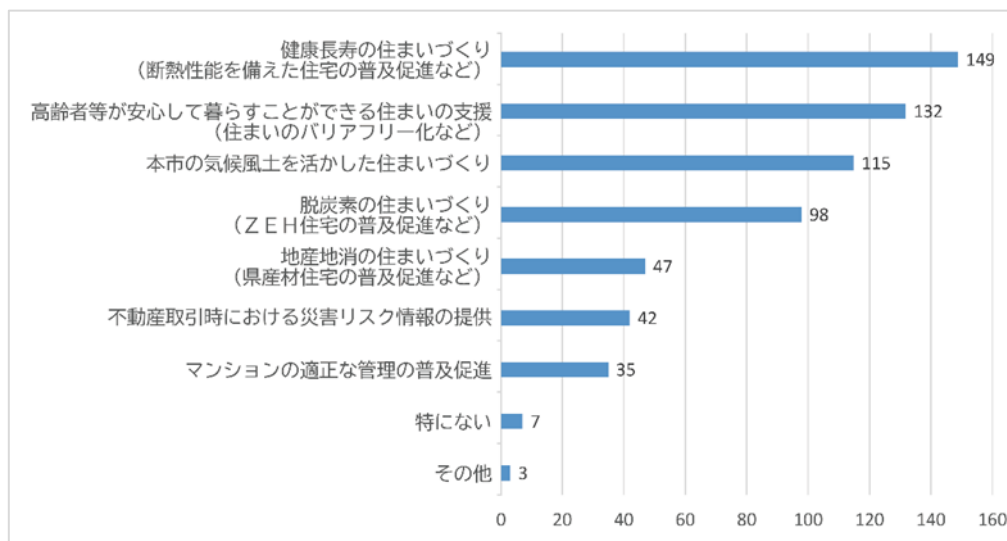


図21－特に力を入れてほしい住宅施策
(環境・健康・安全に配慮した住まいづくり)

年代別でみると、年代が上がるにつれ、「高齢者等が安心して暮らすことができる住まいの支援（住まいのバリアフリー化など）」の割合が高くなっている。また、20代における「マンションの適正な管理の普及促進」の回答の割合が他の年代に比べ、高くなっている。

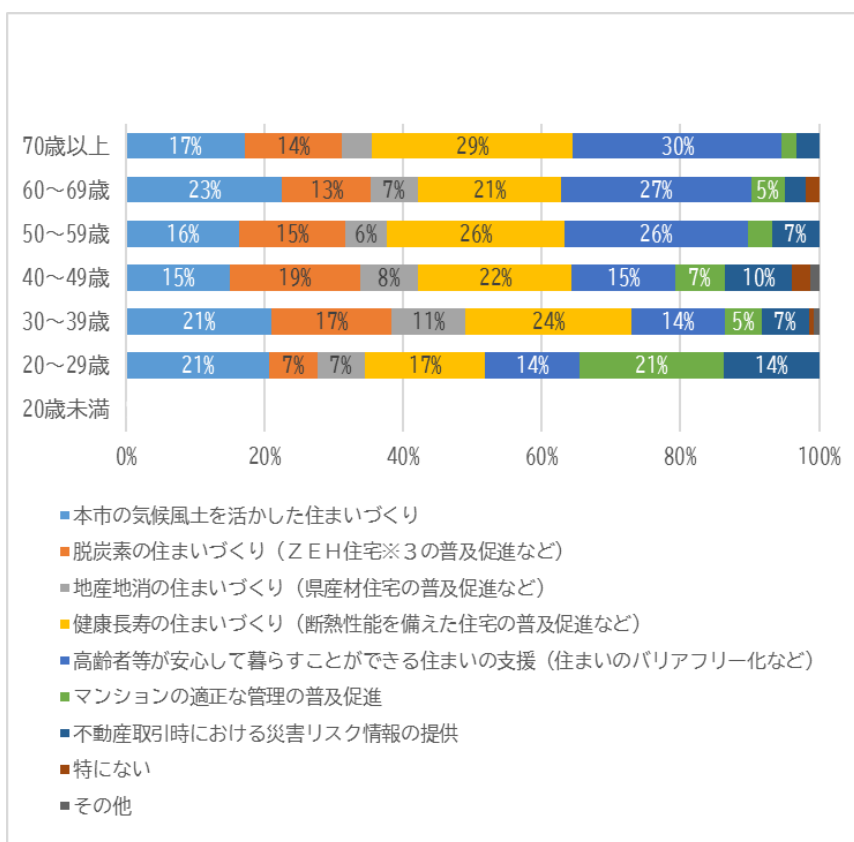


図22 年代別特に力を入れてほしい住宅施策（環境・健康・安全に配慮した住まいづくり）

※3 ZEH住宅：太陽光発電などによる電力創出・省エネルギー設備の導入・外皮の高断熱利用などにより、年間を通して、生活で消費するエネルギーよりも生み出すエネルギーが上回る住宅

『2 | 多様なニーズに応じた住まいづくり』を市が進めるうえで力をいれてほしい施策は、「空き家対策」が72件と最も多く、次いで「ライフステージに応じた柔軟な住替えの促進」が70件となっている。

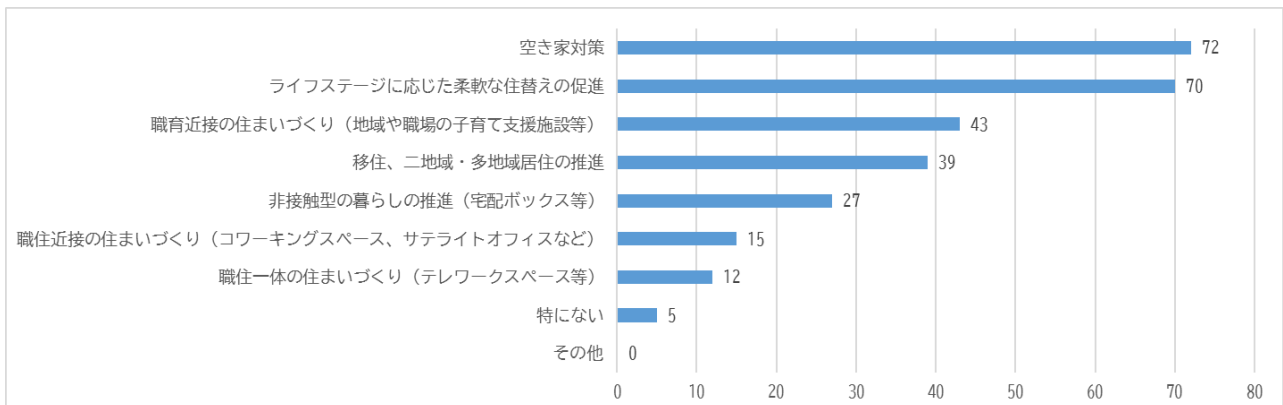


図23－特に力を入れてほしい住宅施策
（多様なニーズに応じた住まいづくり）

年代別でみると、20～30代で「職育近接の住まいづくり（地域や職場の子育て支援施設等）」の割合が高くなっている。「非接触型の暮らしの推進（宅配ボックス等）」は20代の割合が他の年代に比べ、高くなっている。また、年代が上がるにつれ、「ライフステージに応じた柔軟な住替えの促進」の割合が高くなっている。

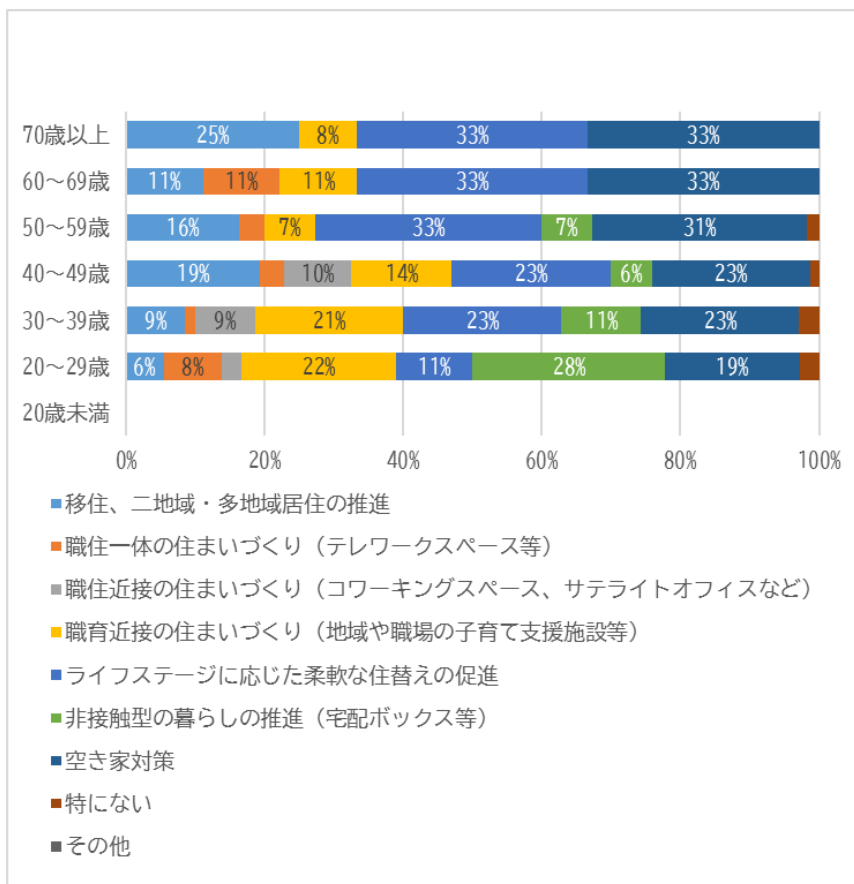


図24 年代別特に力を入れてほしい住宅施策
（多様なニーズに応じた住まいづくり）

このうち『空き家対策』を市が進めるうえで力をいれてほしい施策は、「空き家の改修や解体に対する補助制度を充実する」が49件と最も多く、次いで「賃貸・売却を希望する空き家情報を提供する仕組みや制度を充実する」が44件となっている。

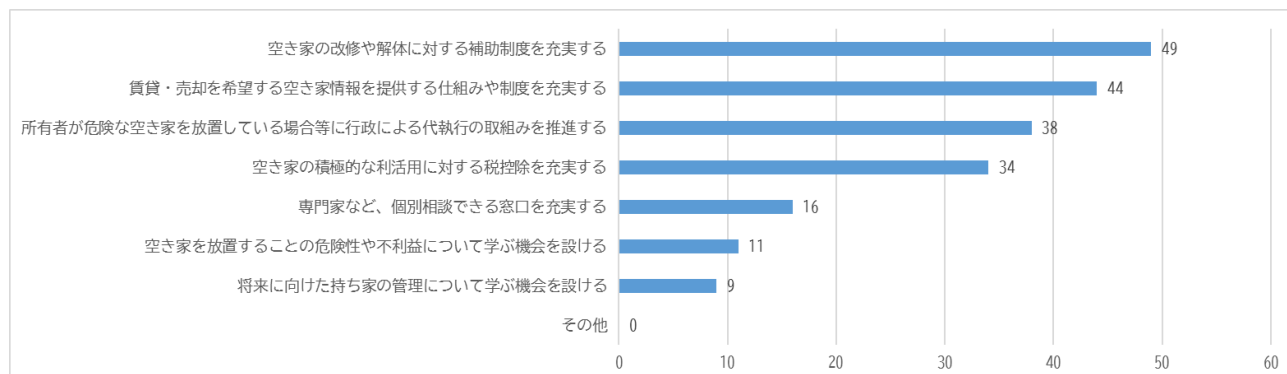


図25－特に力を入れてほしい住宅施策
(空き家対策)

年代別で見ると、30代、70代では「賃貸・売却を希望する空き家情報を提供する仕組みや制度を充実する」の割合がもっとも高く、その他の年代では、「空き家の改修や解体に対する補助制度を充実する」の割合がもっとも高くなっている。

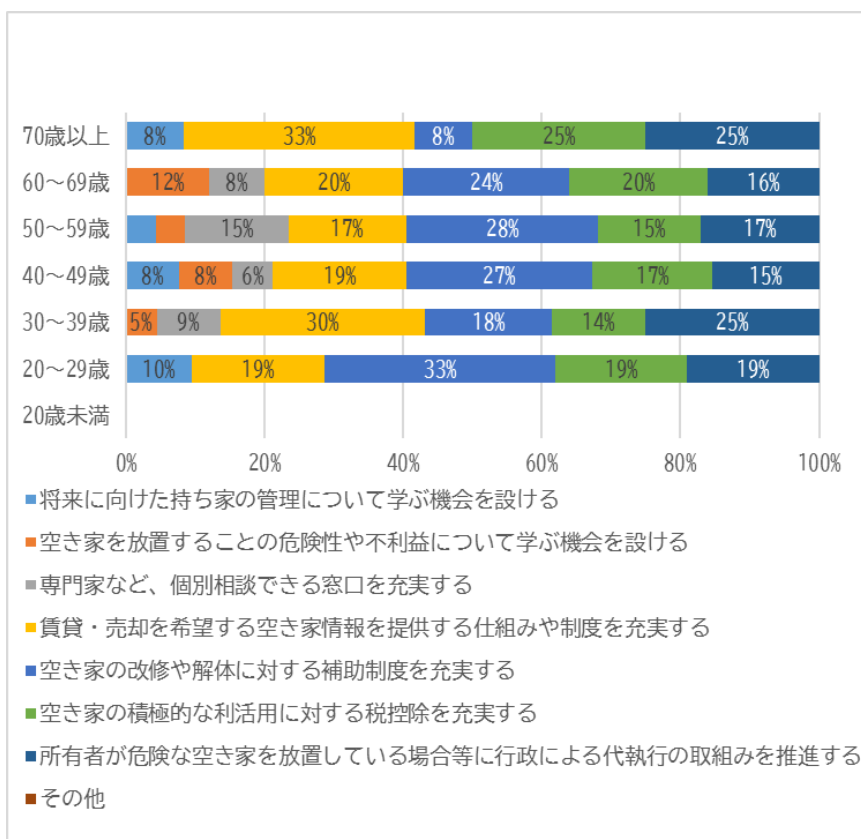


図26－年代別特に力を入れてほしい住宅施策
(空き家対策)

『3 | 多様な世代の支えあいとコミュニティの形成』を市が進めるうえで力をいれてほしい施策は、「高齢期に備えた総合的な住まいの相談体制の充実」が54件と最も多く、次いで「多様な世代がつながり交流するミクストコミュニティ形成の促進」と「子育て・共働き世代に配慮したまちなか居住の推進」が45件となっている。

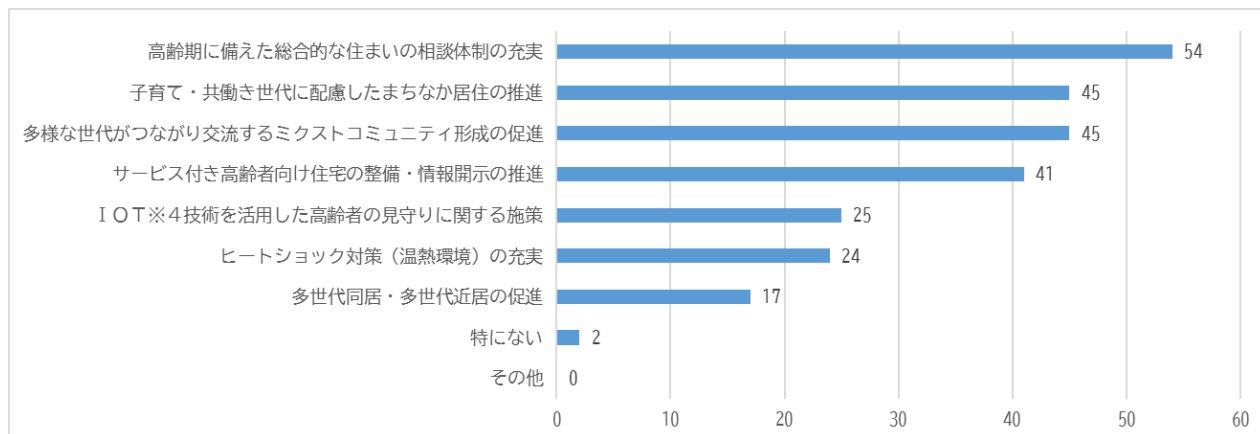


図27ー特に力を入れてほしい住宅施策
(多様な世代の支えあいとコミュニティの形成)

※4 IOT: Internet of Things | 今までインターネットにつながっていなかったモノ（テレビ、デジタルカメラなど）をインターネットにつなぐこと。

年代別で見ると、20代では「子育て・共働き世代に配慮したまちなか居住の推進」の割合が最も高くなっており、「IOT技術を活用した高齢者の見守りに関する施策」は40代と70代が他の年代に比べ、高くなっている。

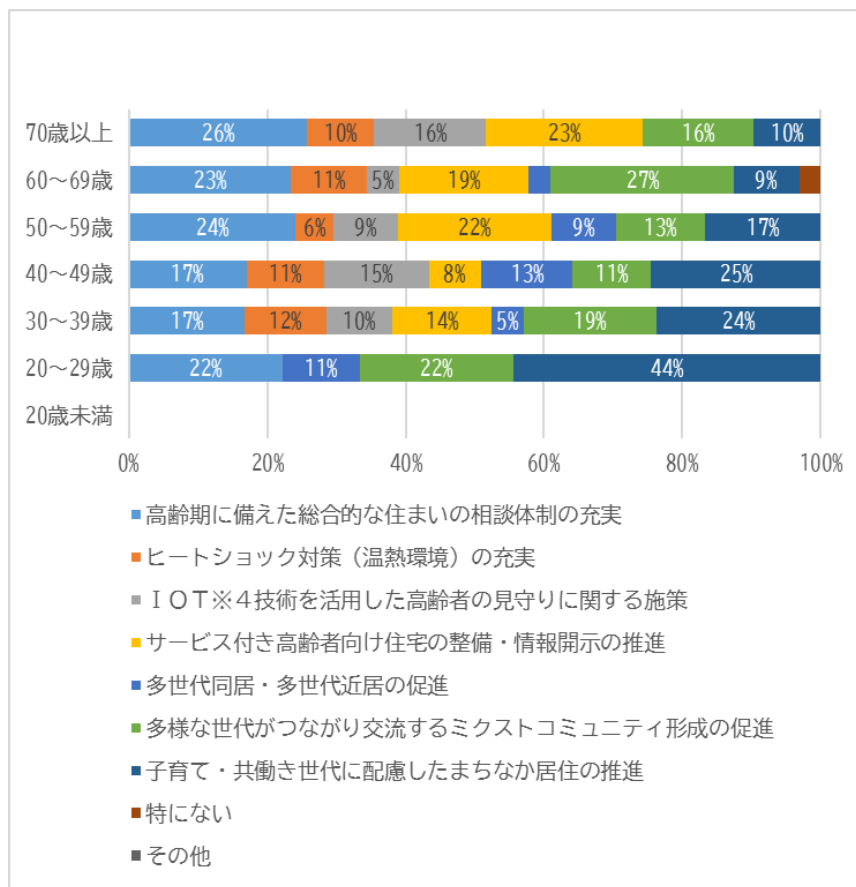


図28－年代別特に力を入れてほしい住宅施策（多様な世代の支えあいとコミュニティの形成）

『4 | 誰もが安心して暮らせる住まいづくり』を市が進めるうえで力をいれてほしい施策は、「災害発生時の住まいの確保」が186件と最も多く、次いで「住宅要配慮者への生活相談・支援体制の確保」が118件となっている。

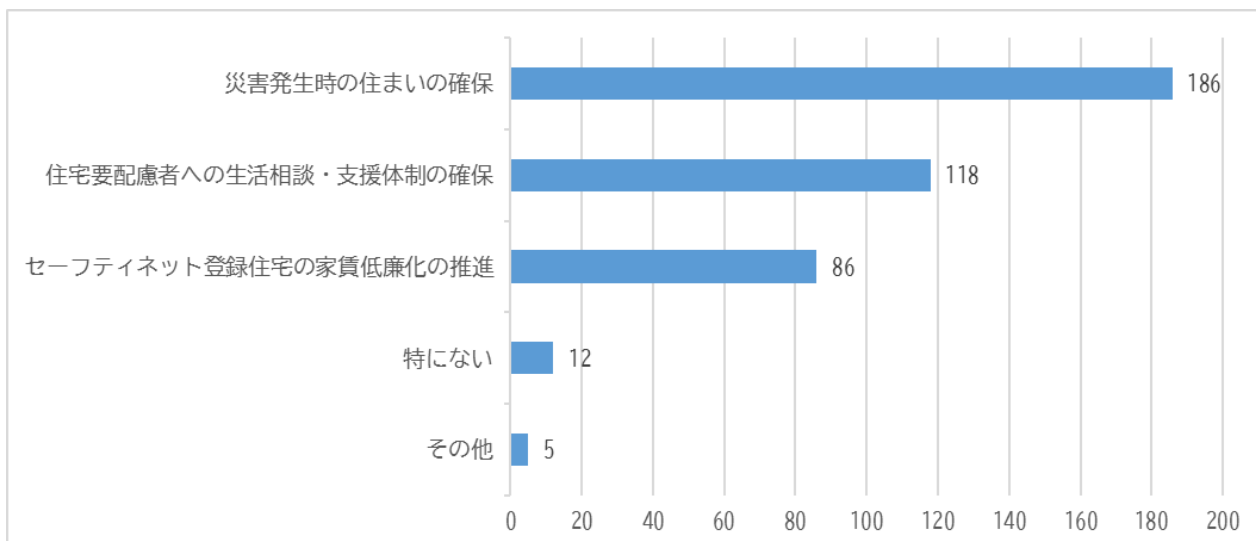


図29－特に力を入れてほしい住宅施策
(誰もが安心して暮らせる住まいづくり)

年代別で見ると、どの年代においても同様の割合となっている。

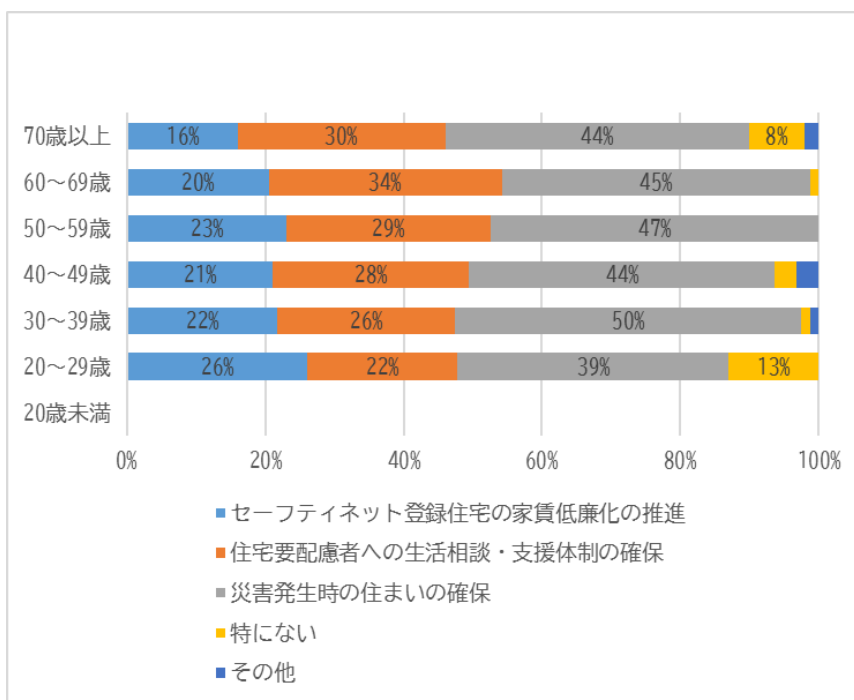


図30－年代別特に力を入れてほしい住宅施策
(誰もが安心して暮らせる住まいづくり)

『5 | 住生活産業の発展と新技術の活用』の住宅施策を市が進めるうえで力をいれてほしい施策は、「新技術を生かした住まいの普及」が47件と最も多く、次いで「既存住宅流通の活性化の促進、リフォーム市場の拡大」が37件となっている。

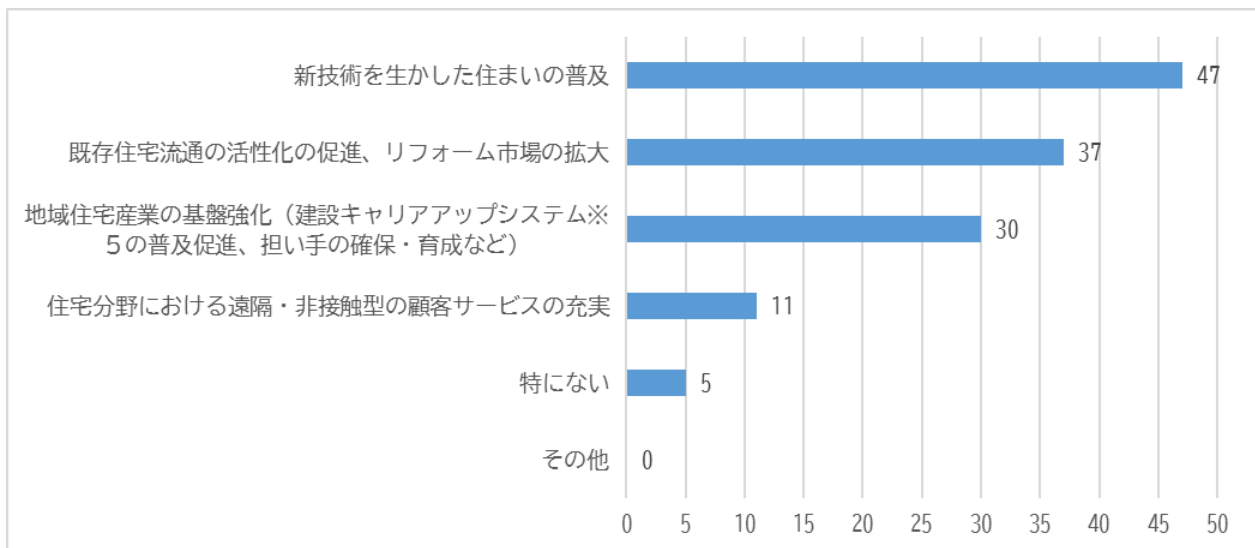


図31 - 特に力を入れてほしい住宅施策
(住生活産業の発展と新技術の活用)

※5 建設キャリアアップシステム：技能者が、技能・経験に応じて適切に処遇される建設業を目指して、技能者の資格や現場での就業履歴等を記録・蓄積し、能力評価につなげる仕組み

年代別でみると、各年代とも「新技術を生かした住まいの普及」の割合が最も高く、次いで「既存住宅流通の活性化の促進、リフォーム市場の拡大」となっている。

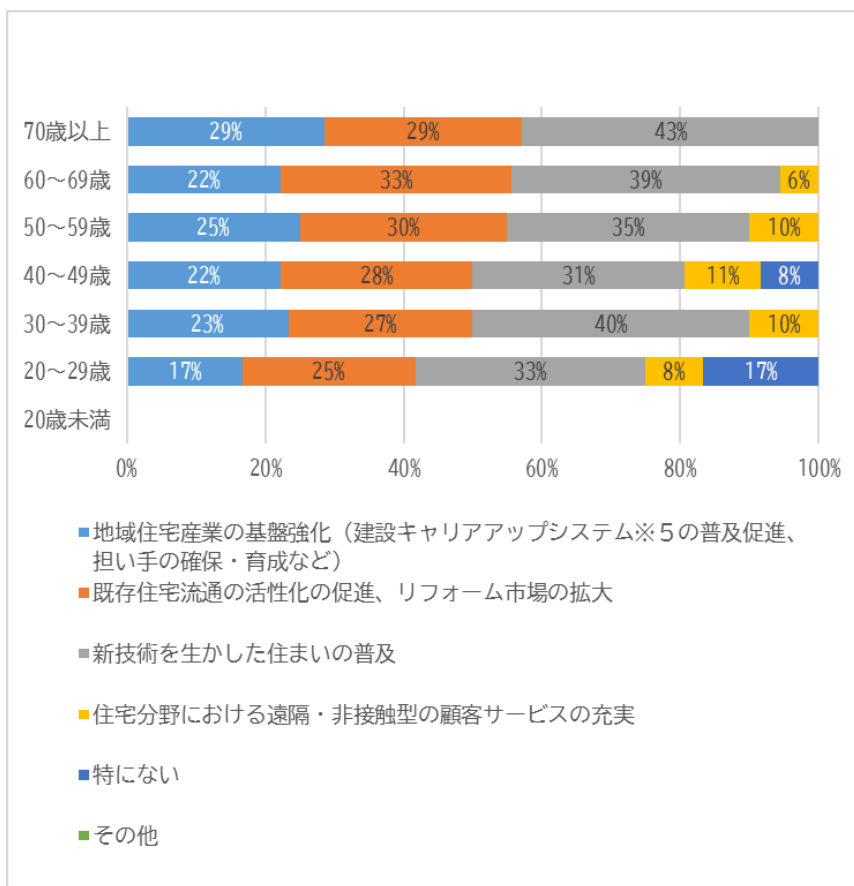


図32 年代別特に力を入れてほしい住宅施策
(住生活産業の発展と新技術の活用)

問12. 松本市の住宅に関する施策へのご意見

その他、松本市の住宅施策に関するご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。

■ 自由意見の分野別意見数（主な分野）

| | |
|-----------------------------|-----|
| <まちづくりに関すること> | 13件 |
| <補助制度、支援制度に関すること> | 12件 |
| <住宅政策全般に関すること> | 8件 |
| <道路、交通に関すること> | 7件 |
| <空き家対策に関すること> | 5件 |
| <市営住宅に関すること> | 4件 |
| <マンションに関すること> | 3件 |
| <建築制限に関すること> | 2件 |